



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

T251-0026 藤沢市鶴沼東8-2

秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

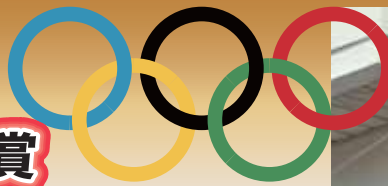
藤沢市民栄誉賞

藤沢市スポーツ栄誉賞受賞

ロンドンオリンピック銅メダリスト



立石 諒選手



藤沢市体育協会では、藤沢市出身、鶴沼小学校、藤沢第一中学校、湘南工科大学附属高校、慶應大学湘南藤沢キャンパスと生粋の藤沢っ子である立石 諒選手に藤沢市スポーツ栄誉賞を贈呈することとなりました。

この賞は、本市のスポーツ界を代表してその功績を広く讃えるために新設された名誉ある賞で、こ

8月1日ロンドンオリンピック競泳男子200m平泳ぎ決勝で第1コースを泳ぐ立石選手の横には北島選手がいました。前半から積極的にとぼす北島選手にピツタリ追泳し続けた北島選手の背中をとらえ、並び抜き去ったのはゴール前タッチ直前で、希望、夢、感動の瞬間でした。



熱田藤沢市水泳協会会長より花束贈呈

れまでに北京オリンピッククソフトポール競技において金メダルに輝いた山田恵里選手、北京パラリンピック自転車競技で金・銀・銅メダルを獲得した石井雅史選手に次いで三人目の受賞者となります。

また、藤沢市においても9月7日藤沢市役所において多くの市民に夢と希望と勇気を与えたとして鈴木恒夫市長から藤沢市民栄誉賞が贈呈されました。

立石選手は、「生まれ育った藤沢市から素晴らしい賞をいただき嬉しく思います。僕には、北島選手に勝つ夢がありました。オリンピックという最高の舞台で達成でき感無量。多くの皆さんの声援に感謝し、これからも夢の続きに向かって頑張ります。」と挨拶され、壁を越えた立石選手の胸に銅メダルが輝いていました。いい顔、素晴らしい感動をありがとう。(大鐘)



鈴木市長と握手をかわす立石選手

第67回 藤沢市民総合体育大会

— 地区対抗競技 —

■ 総合成績

| 順位 | 地区名 | 得点目 |
|-----|-------|-------|
| 優勝 | 滝の沢地区 | 218.0 |
| 準優勝 | 鵜洋地区 | 191.0 |
| 第3位 | 遠藤地区 | 179.5 |
| 第4位 | 高谷地区 | 177.0 |
| 第5位 | 亀井野地区 | 160.0 |
| 第6位 | 藤沢地区 | 157.5 |

■ 種目別優勝

| 種目 | 地区名 |
|------------|-----|
| 軟式野球 | 滝の沢 |
| ソフトテニス | 亀井野 |
| バレーボール(男子) | 羽鳥 |
| バレーボール(女子) | 羽鳥 |
| 卓球 | 中里 |
| バドミントン | 鵜沼 |
| ソフトボール | 駒寄 |
| 硬式テニス | 鵜洋 |

市総体オープン競技

| 種目 | 実施日 | 参加人数・他 |
|----------|-----------|--------------|
| 陸上 | 7/30~7/31 | 1,081名・58チーム |
| バスケットボール | 6/23~7/8 | 810名・49チーム |
| 水泳 | 7/8 | 202名 |
| 剣道 | 8/19 | 630名 |
| 射撃 | 8/5 | 36名 |
| サッカー | 8/18~9/30 | |
| 山岳 | 9/29~9/30 | 18名・丹沢 |
| 柔道 | 11/4 | 250名 |
| スキー | 1/26 | 100名予定・菅平 |
| 空手道 | 10/21 | 380名 |
| 弓道 | 7/8 | 90名 |
| ラグビー | 7/15~9/9 | 1000名・36チーム |

| 種目 | 実施日 | 参加人数・他 |
|----------|-------------|------------|
| ハンドボール | 12/8~12/23 | |
| 体操 | 8/5 | 239名・29チーム |
| ゲートボール | 9/30 | 157名・28チーム |
| ヨット | 8/5 | 56名・34チーム |
| ゴルフ | 8/27 | 117名 |
| ボウリング | 6/3 | 27名 |
| 太極拳 | 11/11 | 175名 |
| グラウンドゴルフ | 12/4 | 250名 |
| アーチェリー | 10/7 | 13名 |
| バウンドテニス | 11/18 | 25地区 |
| ダンススポーツ | 11/24~11/25 | 340組・780人 |
| カヌー | 11/4 | 20名 |

創立60周年記念剣道大会を迎えて

藤沢市剣道連盟は、お陰様で本年60周年を迎える事が出来ました。これも偏に、歴代会長はじめ役員の方々、並びに各地域の指導者と多くの会員の皆様による努力と、藤沢市教育委員会・体育協会そして、神奈川県剣道連盟、藤沢北ロータリークラブのお力添えの賜である事に深く感謝申し上げます。



優勝旗、優勝杯返還

も譲らない戦いでしたが、僅かの差で剣修館川崎道場が勝利を収め優勝旗を争奪しました。また、仲間が試合をしている時の応援そして、試合を終えた後お互いの健闘を励ましあっている少年少女の姿がとても印象深く思えました。午後は、近隣他市(10市)、各剣道連盟の一般の方々をお迎えして5人制による気力溢れる団体戦が行われ、激戦の末、藤沢市剣道連盟Aチームが見事！優勝を納める事ができました。

大会終了後は当連盟と他市剣道連盟の皆様と祝賀会を開催し現状と今後の活動内容、昔話、試合内容の評価、健闘など話題に尽きる事なく大いに盛り上がり、親睦の輪が広がりました。

私達、人間の年齢に例えると、本年で還暦を迎えた藤沢市剣道連盟60年の歴史は決して平穏ではなく、様々な困難を乗り越え、今日世界に誇れる伝統文化として我々が享受していることを忘れる

ことなく、更に普及発展に努めてまいります。今後は次の創立70周年記念剣道大会を目指して計画を進める所存でございます。

大会内容は、午前中が少年少女による藤沢北ロータリークラブ優勝旗争奪戦の団体戦と個人戦を開催しました。団体戦では18チームの代表者5人制による団体戦で市内、各支部の少年少女が参戦し日頃より稽古で鍛えてきた成果を十分に発揮した内容でした。争奪戦では、序盤から番狂わせが発生し、優勝候補のチームがまさかの敗退、勝者となったチームはその勢いで勝ち進みました。

決勝に駒を進めたのは、昨年の優勝チームの片瀬剣友会と強豪の剣修館川崎道場で、先鋒戦から激しい攻防が続き一歩



午後の部 一般の招待試合

(遠藤)

ロンドンオリンピックメダリストとの交流

バレーボール教室

9月8日(土)、9日(日)の2日間、秩父宮記念体育館で、「2012V・サマリーリーグ女子決勝大会」が開催されました。

参加チームは、東西の予選を勝ち抜いた強豪、NECレッドロケッツ・久光製薬スプリングス・岡山シーガルズ・日立リヴァーシ・トヨタ車体クインシーズ・JTマーヴェラスの6チームで、熱戦が繰り広げられました。

大会は、NECレッドロケッツが2年連続3回目の優勝で終了しましたが、決勝戦前の空き時間を有効に活用して、サブコートで市内小学生バレーボールチームの子供たちと、バレーボール教室が開催されました。講師には、櫻井



江畑選手他講師とのバレーボール教室



講師の皆さんと小学生バレーボールチーム

由香(北京オリンピック出場)さんを筆頭に、ロンドンオリンピック銅メダリストの江畑幸子選手を含む、大会参加チームの代表選手が担当しました。子供たちは、江畑選手に群がり、強烈?なアタックをレシーブしたり、思い出に残るひと時を楽しんでいました。また、終了後のセレモニーでは、新鍋理紗(メダリスト)選手からサイン入り色紙が各チームにプレゼントされました。そして、参加チームの子供たちと講師(江畑選手を含む)との記念写真会も行われ、一生の思い出に残る1日になりました。(荒井)

平成24年度 全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) 開催

10月26日(金)~10月28日(日)の3日間、北は北海道、南は沖縄から各都道府県の代表選手1500名が第一会場秩父宮記念体育館(女子)と第二会場神奈川県立スポーツセンター(男子)で熱戦を繰り広げました。

この大会は、年令別の卓球日本一を決定する大会で、若い選手だけではなく年令を超えた仲間の活躍も注目され、85才以上の部では102才の男子選手も元気に出場されました。

最終日の秩父宮記念体育館では、立ち見が出るほど観覧席は満席となり大いに盛り上がりました。(井上)



元気にプレーする選手の皆さん

編集後記

2012年は東日本震災の復興へ加速すべき年でもありますが、スポーツを通して全国各地、市町村に勇気と感動を与えた年でもありました。特にスポーツの祭典、第30回オリンピック競技大会のロンドンオリンピックで日本の史上最多38個のメダルを獲得した選手達、初の日本代表選手団のパレード、50万人の大観衆の声援の中に藤沢市出身の選手が立っていたことは最高に喜ばしいことでした。

スポーツの仲間が藤沢市民栄誉賞、国民栄誉賞などの受賞も市民スポーツの支えと直向な日ごろの活動に尽きると感じます。今後も藤沢市地域生涯スポーツの振興と活躍を目指して、勇気と感動の結果を報告させて頂きます。(大川・武井)

第28回 スポーツ人の集い

◆日時 平成25年2月16日(土) 午後3時~

◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 式典

藤沢市スポーツ栄誉賞表彰式
藤沢市ゆかりのオリンピックメダリスト・世界選手権大会優勝者を表彰

藤沢スポーツ賞表彰式
この1年間に活躍した選手・団体を表彰

第2部 講演会

「目の前にある無限の可能性」

◆プロフィール◆

東海大学体育学部教授
東海大学陸上競技部短距離コーチ
公益財団法人 日本陸上競技連盟理事
特定非営利活動法人
日本ランニング振興機構理事長
日本スプリント学会会長

男子 400m 日本記録保持者
高野進氏